

社会福祉法人ファミーユ高知だより

ふくらむ

2024年 春・夏号 No.45

発行所 高知ハビリテーリングセンター 印刷科

みとめあい・たすけあい・はげましあい・高知愛

去る2月6日(火)に「農業と福祉がつながって、人が元気に!地域が元気に!」と題して【高知県農福連携推進フォーラム】が高知県民文化ホール(グリーン)で開催された。本フォーラムの主催は高知県(子ども・福祉政策部 障害保健福祉課)であり、2023年度はフォーラム以外にこれまでも開催されていたマルシェなども含めて高知県が地域や一次産業、医療保険福祉の実情を踏まえ、これまで以上に注力されていることを強く感じると共に行政機関のバックアップを受け、安芸市はもちろん県全体での潮流を感じる機会であった。



さて、ここからはフォーラム開始前から内容、その後について少しずつ触れていきたいと思う。

遡ること6か月前、県の職員さんから「2月6日時間をいただきたい」と話があった。内容は明かさなかったが、私は基本的に【依頼されたものは断らず、まずは挑戦】をモットーにしているため不安はありながらも快諾した。

その後、本フォーラムの内容が徐々に明らかになり、基調講演に村木厚子氏、パネルディスカッションには東海大学の濱田健司氏はじめ県内で農福連携に取り組むトップランナー、そして高知区検察庁の副検事まで登壇すると聞き、遅ればせながら緊張感が込み上げてきた。

県の担当者や業務委託されている企業担当者もフォーラム当日まで1つ1つ丁寧に対応していただき、当日は変に背伸びすることもなく、自然体で壇上に上がることができた。その要因は当日に村木厚子さんと大好きな先輩である「仲地さん」の話ができたこと、そして、大好きな兄貴である「公文さん」と一緒に近く中華料理屋でご飯を食べたことだと振り返る。私が人としても作業療法士としても尊敬してやまない仲地さんはある時、私にこのようにつぶやいた。

「太一、地域包括ケアシステムは複雑でよく分からん、結局は【気にかける】人がいることが大切だと思う」

「太一、退院する時に大切なことは人とサービスをつなぐことではなく、人と人をつなぐことよ」と話してくれた。

今回、村木厚子さんの講演の中で「自立とは、依存しないことではない。自立とはたくさんさんのものに少しずつ依存できるようになることである。」と小児科医・熊谷晋一郎さんから教わった自立の定義を話された。村木さんの人柄やこれまでの生き方への尊敬も含め、その語りは会場、オンラインで参加された300人を超える聴衆に強く強く響いたことは言うまでもない。

最後に、本フォーラムに参加させていただく機会を得て、「人は人によって人になる」ことを強く意識した。今の日本を築き上げた先代の人々がまず取り組んだ一次産業には昔から変わらない人を多面的に助ける数多くの要素があることを改めて感じると共にどのフィールドにおいても共通する点がたくさんあることに気づきを得た。

高知ハビリテーリングセンター 副センター長 中越太一



社会福祉法人 ファミーユ高知



●高知ハビリテーリングセンター
〒781-0313 高知市春野町内ノ谷 63 番地 6
Tel (088) 842-1921 Fax (088) 842-2601

◇障害者支援施設

・施設入所支援事業 ・短期入所支援事業 (空床型/併設型)
・自立訓練事業 (機能訓練/生活訓練) ・生活介護事業

◇アルパーテ

・就労継続支援B型事業 ・就労移行支援事業 ・就労定着支援事業

◇はるのハビリホーム

〒781-0313 高知市春野町内ノ谷23番地1
・共同生活援助事業



●しごと・生活サポートセンター ウェーブ
〒780-0056 高知県高知市北本町1丁目 8-7
Tel (088) 820-1221 Fax (088) 820-1223
◇就労継続支援A型事業 「オウンパス」
◇就労継続支援B型事業 「スウェル」
◇特定相談支援事業

●法人本部

〒781-0313 高知市春野町内ノ谷 63 番地 6
Tel (088) 842-1921 Fax (088) 842-5010



子供たちからの贈り物



【放課後等デイサービス】は《障害児支援の強化》に基づき、2012年4月より制度化され、高知ハビリテーリングセンターにおいても翌2013年4月より「キュール」を開所しました。

当初は放課後等デイサービスを運営する事業所もまだ数える程で、定員数が1日10名であるにも関わらず、初年度の登録児童は58名、2017年度には89名にも上りました。

1日の受入人数を考えるとあまりにもアンバランスに思えるかもしれませんが、社会資源としてのご家族のニーズは「支援」＜「居場所」でした。児童1人1人も非常に多様であり、本人はもちろんのこと、それぞれのご家庭を大切に対応していく上ではそうならざるを得なかったと思います。

「キュール」に通う児童は小学1年生から高校3年生までと幅広く、個別支援はもちろん、広大な敷地・中庭での虫取り遊びや、隣接する障害者スポーツセンターを利用したプール・運動遊び、長期休業日には県内のさまざまなスポットや公共交通機関を利用して外出訓練等、スウェーデン語で「楽しむ」という意味を持つ事業所名に負けない活動を大切に取り組んできました。

障害の有無に関係なく、児童の余りあるエネルギーにタジタジになることもありましたが、心身共に沢山の変化や成長を目の当たりにし、支援者

自身、児童を通じてたくさんの情緒的な刺激や気付きを得る貴重な経験をさせて頂きました。

現在では放課後等デイサービスは市内に約70事業所あり、多種多様な支援を選択できるようになりました。制度やご家族のニーズ等さまざまな変化が生じる中で、「目の前にいる方に対し、高知ハビリテーリングセンターが担うべき役割と果たすべき責務は何か…」を前向きに検討すべき時期に来ていました。たくさんのお話し合いの末、「キュール」は2024年3月31日をもって、11年間の活動に終止符を打ちました。

これまでの11年間の中で出会った児童は100名以上、支えてくれたスタッフも30名を超えます。今回の事業終了は結果的に児童、保護者の生活に大きな変化をもたらすことになってしまいましたが、次のバトンを受け、繋いで頂いた環境においてさらにたくさんのお成長と出会いがあることと信じています。この場をお借りしてキュールを利用していただいた児童のみなさん、また見守り、応援して頂いた保護者ならびに関係機関のみなさまに心から御礼申し上げます。

本当に長きにわたり、ありがとうございました。

今後とも高知ハビリテーリングセンターを引き続き、よろしくお願いいたします。

副センター長 中越太一



スマイルプロジェクト



近森病院の「着の身着のまま緊急入院となる患者さんが無事退院を迎えたけれども、退院時に着替える服がない」との相談を受け、合同企画「スマイルプロジェクト」を2023年5月に立ち上げました。未使用タオルや家庭で眠っているお宝を近森病院の職員に呼びかけて集め、秋祭りのフリーマーケットで販売。フリーマーケット当日は大盛況！その収益で新品の洋服を購入しようと動こうとした時にあのテレビCMで流れている「ワークウェイ」さんが協賛してくださるという心強い助っ人が参上！おかげで衣服上下40セットとタオル50セットを近森病院にお届けすることができました。

センター長 西岡由江

介助犬に会ってきました!!

12月21日「介護犬総合訓練センター“シンシアの丘”」の方々が講義に来てくれました！「介助犬」は初めて聞く利用者も多く、興味を持って聴講されており、「犬種は？」など鋭い質問も飛び交っていました。また、座学だけでなく、実演やふれあいの機会も設けてくださっており、利用者からは「ほえないし、戸も閉めてくれて賢いね～」といった声も聞かれていました。今回の講義では、個々の障害に関係なく、多くの利用者が講義を楽しむことができ、利用者・職員ともに貴重な良い体験となりました。ありがとうございました。



生活・訓練部 機能訓練 青木菜緒

お花見

3月20日の春分の日に春祭りを開催しました。当日は満開の桜と春らしい天候に恵まれて…のはずでしたが…。前日から6mを越える強風予報、晴れたり曇ったり雨が降ったり【春の嵐】がピッタリの1日でしたが…心配な担当職員の不安なんてどこ吹く風、利用者や職員はハンバーガーランチセット、たこ焼き、ライフさんの焼き菓子、お茶席を満喫し、秋山リーダー率いる機能訓練チームのハンドベル演奏に癒され、締めビンゴゲームで白熱し、短い時間でしたが来場いただいたご家族も含め、笑顔満開の時間となりました。次は秋祭り、今からワクワクが止まりませんね。乞うご期待。

副センター長 中越太一



社会福祉士

私は作業療法士として臨床を重ねる中で、厳しい環境に居る子ども達の役に立ちたい、と考えるようになりました。そのためには作業療法士の知識だけでは難しいと感じ、通信教育で社会福祉の勉強を始め、2024年3月に社会福祉士国家試験に合格しました。いつしか試験合格が目標になっていましたが、これからはボランティアなど自分のできることから、困っている子供たちの支援を行っていかようと思います。

就労継続・地域部 川淵佐織



ハビリのマインドを新たに！

今回、当施設ではご利用者により良い支援を提供することができるように、各事業で支援の在り方を振り返り、各事業の強みを支援に生かせるように“マインド”を作成しています。
“想いを大切にし思いを新たに” 全事業が同じ方向を目指して進んでいきます。

就労継続支援 B 型マインド

新たなチャレンジが
スキルアップにつながる職場へ
～働く喜びを共に分かち合う～

施設入所マインド

- 信頼関係
利用者の思いや能力を引き出そう
- 安心・安全
利用者も職員も健康第一
- 出来た！の喜びを共に
利用者と共にできたことを
喜びにかえよう

はるのハビリホーム マインド

- 本人をより主役に！
- 支援者は利用者を後るから
支え、追い風となる支援を
- 利用者の失敗する
権利を奪わず、
成長に繋げる

就労移行マインド

- 一人ひとりの生きるを見つける
適職を探すだけでなく、
目の前の利用者は何が好きで、何がしくて、
どういう生活がしたいのかを理解し、
その人らしく生きる生き方を応援する
- 自己選択 情報をキャッチし選択肢を提示する
- 輪 職場・支援者・医療が支える体制を築く
- 信頼 利用者の「強み」を伸ばす・活かす
チャレンジだけではなく「課題」への
直面化・気づき・新たな手段の獲得に
繋がるステップを共に歩む

生活訓練マインド

- 社会生活力の向上と評価
- 適切な移行先につなげる

機能訓練マインド

- “つなぐ支援”
利用者の想いを知り
次の生活へ支援する

ハビリの事業計画

- その人が望む地域生活に繋ぐ『通過型施設』
としての役割を果たします
- 組織風土の醸成と人材育成
- 健全な財務基盤の構築
- 職員のワークアップを目指します

能登半島地震災害派遣

令和6年能登半島地震に係る介護職員等派遣要請があり2月2日から4日の3日間で石川県金沢市にある「いしかわ総合スポーツセンター」に行ってきました。派遣されたメインアリーナは1・5次避難所でアリーナの中には多数の避難テントが並んでいました。テントのスペースとしては2畳程度となっており夫婦や兄弟、親子で一つのテントで生活されていた方もいらっしゃいました。テントには名前と住所（目印）が記載されてお



り100名以上の方が生活をされていました。自分たちの役割としては、入居者の食事の配膳、トイレ誘導、トイレ介助、入浴介助、誘

導といった介護業務でした。避難者の個人情報やADLなど把握できていない状況で顔や名前が一致せずどの程度のことかできてどこをお手伝いしたらよいか分からない状況でした。そのため避難者に直接聞きながら介護業務にあたりましたが十分な介護はできませんでした。その中でも避難者の方々には「申し訳ないね」「ありがとう」と言われることが多く複雑な気持ちになりながら、今の目の前にいらっしゃる避難者の方々に精一杯向き合っていくことしかできませんでした。

災害派遣は初めての経験で自分に何ができるだろうと考えながらの3日間でもとても貴重な体験をさせて頂きました。今後必ず起こると言われている南海トラフ地震に活かせることができたらと思っています。 **オウンパス 根木紀佳**

ハビリの達人を目指して

当センターには各事業の中心的な役割を担うベテラン職員が配属されています。今回はそのような9名の職員を対象として、他の事業のご利用者や職員と交流し、より深く施設を理解することで達人になることを目指した「達人研修」に臨みました。ベテラン職員自身に研修先や学

びたい内容を決めてもらい、1～2事業を数日にかけて研修し、研修で感じたことを発表会という形で職員に報告しました。達人ならではの気づきや研修先への提案など、お互いにとって貴重な機会となりました。



教育委員会 島崎義広

達人の皆さんの胸にはこの「達人バッジ」が輝いています

利用者さんの夢がふくらむ



フルマラソン初挑戦を高知龍馬マラソン2024に出場して4時間10分4秒で完走できました。マラソンコースは何日かに分けて陸上競技場の中以外は全て走ってみて練習していました。1日38km走ったときもありました。本番前半は5km間を24分22秒でいいペースでしたが中間点あたりから太ももに筋肉痛が出はじめてしんどくなってきてペースが落ちました。32kmぐらいで右ひざが痛くなったもののゆっくり走って何とかのりきりました。

就労継続支援B型 利用者 西川直孝



高知ハビリテーリングセンターにきてから16年目になりました。クリーニング科にきてから6年目になりました。クリーニング科10名で、仕事をとりくんでいます。ぼくは今、近森の、オルソのユニフォームのナンバーチェックをしています。近森の最終チェックもしています。ぼくは、仕事を一日もやすまず、とりくんでいます。B型の職員さんには、いろんな作業をさせていただき、とても光栄です。クリーニングのみならずこれから新しい仕事にとりくんでやります。ぼくは、バレーボール、38才まで山田ファイターズのちてきの男子のキャプテンでした。ぼくはまだいろいろなスポーツ大会にちょうせんします。

就労継続支援B型 利用者 中井文太

農福 と ウェーブ と わたし

ウェーブで農福連携を始めて4年が経ちました。大津にある谷農園から茗荷ハウスの片付け作業依頼を受けたことが始まりで、今ではグロリオサの球根掘りやピーマンの収穫・JA 春野でのきゅうりの袋詰め作業など色々な農業の分野に携わることができるようになってきました。農福連携を定着させていくためにまず支援者にとって必要なことは「農作業を理解すること」だと私は思います。作物を育てるにあたりなぜその作業が必要なのか？を理解した上で利用者に伝えながら支援をしていくことは一見シンプルに見えてとても奥が深く、素人の私がどうやって？と現場で躓くことも多々あります。農福連携技術支援者研修を受けさせて頂いたことで農作業を理解することの重要性を今まで以上に実感でき農業に携わる利用者が安全に正確に作業を行うために必要な作業分析や支援方法等、目から鱗の時間でした。今後も農家



グロリオサの球根掘り 中島農園 中島さんと

とウェーブが互いにWINWINな関係を構築できるよう研修で学んだことを活かしながら日々精進していきたいです。

スウェル 齋藤章人

品質向上に向けての取り組み



スウェルクリーニングでは近森会職員のユニフォームや患者様の洗濯物を取り扱っています。以前、衣類にボールペンやリップクリームが混入したまま洗濯してしまい油分などのシミが付着する事故が起きました。現在は1枚1枚ポケットの中に手を入れ確認することを徹底しています。患者様の洗濯物は受け入れ時に2人体制で種類別に枚数を納品伝票に記入します。チェック台に種類別に間仕切りして仕分けをすることで乱雑さがなくなり枚数間違いを無くせるような取り組みや、たたんだ時の折り目やしわの除去など少しでも綺麗な状態で納品できるように日々皆で頑張っています。



スウェル 楠瀬 綾

オーテピア図書館を満喫



3月16日(土)、春の日差しを浴びながら皆で歩いてオーテピア図書館に向かいました。2階図書館での自由行動ではそれぞれが自分の好きな本を読んだり、利用カードを作り本を借りたりしました。5階の科学館ではジャイロ効果(回転)の科学実験教室が開催されており掃除機や駒、ヘリコプターの仕組みなど知ることができました。その後プラネタリウムに入り高知の今日の夜空を再現した星空を見ながら星座の説明を聞きました。解説を聞きながら「へ〜」と声を返したり、中には静かな空間と程よい音楽で眠りに誘われた方もいました。普段の作業している姿と違う一面を見ることができ、今後こういった機会を作っていきたいと思いました。

マルチイベント委員会
森矢圭吾



～生活習慣病を予防しよう～

3月11、12日に利用者の方に向けて生活習慣病の予防をテーマにした研修会を開催しました。講師には高知市健康増進課の保健師を招き、食事や運動を中心にお話していただきました。研修中、講師の方が話された内容に対して相槌をうつ姿や疑問に感じたことを呟く場面が見られ、研修に参加した利用者一人ひとりが自身の生活習慣について振り返っているのかなと感じました。正しい間食のしかたや5分ほどで出来るお手軽運動など我慢し過ぎることなく無理のない範囲で出来そうな予防法をたくさん学ぶことが出来、とても有意義な時間となりました。今後も利用者の方々の生活がより良くなるように様々なイベントや研修など企画出来ればと考えています。

安全衛生委員会 川村健太





只今、就労中!



園部 竜之介 (そのべ りゅうのすけ)

- 就職先：富士産業株式会社 (配属：仁淀病院)
- 就職日：2023年11月1日
- 業 務：調理補助、洗浄業務

内容

小学校の頃からお菓子作りが好きで、クラスの友達に作って配っていた園部竜之介さん。「裏方として調理関係の仕事がしたい」と言っていた言葉通り、病院の厨房内で調理補助として働いています。食事の盛り付けや洗い物、ゴミ出しから併設する高齢者施設のおやつの下膳など様々な業務を行い、比較的年配の従業員が多い職場にとって有難い存在となっています。

お給料で好きな服を買うなど、これまで一般就労の経験が無かった分、“お金を稼ぐ”喜びを感じています。

●そんな彼のこれからの目標は。。

ー お金を貯めて車の免許を取りたい!

松本 祥幸 (まつもと やすゆき)

- 就職先：パーソルダイバース株式会社
- 就職日：2023年10月1日
- 業 務：名刺のデータ入力

内容

いつも丁寧に挨拶や話をしてくれる松本祥幸さん。その分、とても緊張しやすく「パソコン作業がメインの仕事がしたい」と希望した、パーソルダイバース株式会社に見事就職されました。苦しい作業が無いため、精神的な負担が少なく継続して働く事が出来ています。

そんな彼が大変に思っていることは通勤です。四万十町にある職場に車で1時間以上かけて通われていますが、リモートワークが出来る日があるので助かっていると言います。

●そんな彼の今後の目標は。。

ー 働く時間を伸ばしたいと思っており、その為に生活リズムを少しずつ変化させて身体を慣らしていきたいと考えています。

● その目標を応援しています! ●

障害者スポーツセンター リレーマラソン

1月28日(日)高知県障害者スポーツセンターリレーマラソンが開催され、この大会に向けて結成されたリレーマラソン初挑戦の6人で参加しました。チーム名は『ハビリRUNラン』です。それぞれのペースで走り笑顔でタスキを渡すことが共通の目標でした。障害者スポーツセンターグラウンドと周辺農道1人約1.9kmを走り、34チーム中17位!57分!目標タイム1時間10分を大幅に上回るタイムでした。沿道からの熱い応援も力になりました。ご声援ありがとうございました。

就労継続・地域部 恒石美佐子



「いつの間にか」

「いつの間にか」

ウェーブに入職し、もうすぐで1年が経ちます。入職当初、次男は6カ月。長男は2歳となかなか大変な毎日でした…。ですが、いつの間にか次男は自分で歩くようになり、長男は1人でトイレに行けるまでに。この1年で仕事と育児の両立は大変だと実感しました。そんな大変な日々も「いつの間にか」無くなってしまうのかと思うと、1日の大切さを改めて感じます。1日を大切に、日々の経験を色々な場所で活かせるように私も頑張っていきたいと思えます。

スウェル 山崎里菜

**高知県作業療法士会
地域連携部障害福祉班での
発表機会をいただきました。**

この度、所属している高知県作業療法士会地域連携部障害福祉班での活動において、「障害者支援施設における関わり」と題して発表する機会をいただきました。以前私が高知ハビリテーリングセンター（以下ハビリ）で所属していた「自立訓練（機能訓練）」で関わらせていただいた事例を紹介し、病院と障害福祉との連携やハビリで行った支援などを報告しました。日頃行っている支援が外から見れば、私たちが思っている以上に手厚い支援であること、まだまだ障害者支援施設における支援内容の認知度の低さなど、気づかされるが多々ありました。



今回紹介させていただいた症例は、回復期リハ

ビリテーション病院を経て当施設を利用し復職に繋がった事例です。症例の職務に関連する発表練習や家屋環境調整、通勤ルート確認、サービス選定など多くのスタッフが丸丸となってサポートできたと感じています。また、ハビリ利用までの流れや過去の実績なども含め、オンラインにて土佐リハビリテーションカレッジ桂先生と対談形式で実施させていただきました。当日は、想定以上にご質問を頂き、障害者支援施設への関心度の高さを感じた事でした。介護保険サービスだけではなく、その人の可能性を少しでも広げることが出来るように、医療との連携は今後一層強化していきたいと思います。医療スタッフの方で、引継ぎ支援でお困りの方はまずは職場のソーシャルワーカーに相談してみるのも良いと思います。

生活・訓練部 橋本竜太



▲医療スタッフと連携し通勤ルート確認している様子

季節の花

草花の芽吹く季節がやってきました。桜やランキュラスも春の訪れを知らせてくれる植物です。あちらこちらで咲く色とりどりの春の花々が日常を豊かにしてくれています。



啓翁（ケイオウ）桜、イヨミズキ、パールアカシア、ストック、トルコキキョウ、カーネーション、ランキュラス、ユーカリポポラス、モンステラ 生け花担当職員 小松 香

【特定相談支援事業所廃止のお知らせ】

この度、2024年3月31日をもって特定相談支援事業所は廃止となりました。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

利用状況

ハビリテーリングセンター

- 2024年3月の見学件数
..... 14件
- 3月の1日あたりの平均利用者数
- 自立訓練
 - ・機能訓練(定員20名) ... 19.6名
 - ・生活訓練(定員10名) 8名
- 生活介護（定員10名）
..... 10.7名
- 施設入所支援（定員40名）
..... 32.2名
- アルパーテ
 - ・就労継続支援B型(定員40名)
..... 46名

- ・就労移行支援（定員10名）
.....3.2名
- ・就労定着支援..... 9名
- キョール(放課後等デイサービス)
(定員10名)3.1名
- はるのハビリホーム(定員36名)
・グループホーム..... 32.4名
- ウェーブ
 - 2024年3月の見学件数
スウェル 1件
 - オウパス 0件
 - 3月の1日あたりの平均利用者数
スウェル(定員40名)..... 34.1名
 - オウパス(定員10名)7.1名

編集後記

若い時にバスケットボールをしていた頃は無限に体力があったように思いますが、近隣の登山をした際に「古い」を痛感しました。膝、腰、肩… 日頃のメンテナンスは大切ですね。「古い」と言えばネガティブな印象がありますが、昔は経験を重ねた知識人、知恵の備わった人を意味していたそうですね。

ムータ